【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【公表番号】特表2008-538457(P2008-538457A)
【公表日】平成20年10月23日(2008.10.23)
【年通号数】公開・登録公報2008-042
【出願番号】特願2007-555132(P2007-555132)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　7/26　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　7/13　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成21年1月26日(2009.1.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも第１および第２のビデオ・ストリームを復号するデコーダであって、
それぞれが前記少なくとも第１および第２のビデオ・ストリームのそれぞれを復号して、少なくとも第１および第２の圧縮解除ビデオ・ストリームを生成する、少なくとも第１および第２のデコーダ・ステージと、
前記少なくとも第１および第２のビデオ・ストリームのそれぞれを、前記少なくとも第１および第２のデコーダ・ステージにそれぞれルーティングするルーティング・ステージと、
前記少なくとも第１および第２の圧縮解除ビデオ・ストリームのそれぞれのフレームをそれぞれ記憶する少なくとも第１および第２のバッファ・ステージと、
前記第１および第２のバッファ・ステージからのフレームを、共通のサイズにスケーリングするスケーラと、
を含む、前記デコーダ。
【請求項２】
前記少なくとも第１および第２のビデオ・ストリームがそれぞれ第１および第２のフォーマットでエンコードされており、前記少なくとも第１および第２のデコーダ・ステージがそれぞれ、前記少なくとも第１および第２のビデオ・ストリームの前記第１および第２のフォーマットにそれぞれ合致した第１および第２の復号フォーマットを有する、請求項１に記載のデコーダ。
【請求項３】
前記第１のエンコード・フォーマットが、標準精細度（ＳＤ）ビデオのＭＰＥＧ２、ＤＶ２５、およびＤＶ５０、ならびに高精細度ビデオのＭＰＥＧ２、Ｈ．２６４－ＭＰＥＧ４　ＡＶＣ、およびＤＶ１００のうちの１つを含む、請求項２に記載のデコーダ。
【請求項４】
前記第２のエンコード・フォーマットが、標準精細度（ＳＤ）ビデオのＭＰＥＧ２、ＤＶ２５、およびＤＶ５０、ならびに高精細度ビデオのＭＰＥＧ２、Ｈ．２６４－ＭＰＥＧ４　ＡＶＣ、およびＤＶ１００のうちの１つを含む、請求項２に記載のデコーダ。
【請求項５】
前記少なくとも第１および第２のプレゼンテーション・バッファ・ステージが異なるサ

イズを有する、請求項１に記載のデコーダ。
【請求項６】
前記第１および第２のプレゼンテーション・バッファ・ステージが、７２０×４８０ピクセル、７２０×５７６ピクセル、１９２０×１０８０ピクセルまたは１２８０×７２０ピクセルの何れかのサイズを有する、請求項５に記載のデコーダ。
【請求項７】
ロック・セマフォによって、前記第１および第２のプレゼンテーション・バッファ・ステージの少なくとも１つが、他方のバッファ・ステージをオーバーランすることを防止する、請求項１に記載のデコーダ。
【請求項８】
前記少なくとも第１および第２のプレゼンテーション・バッファ・ステージの少なくとも１つが、前記少なくとも第１および第２のデコーダ・ステージの関連する１つを前記スケーラから切り離して、各デコーダ・ステージが独立して復号し、時間的に並列に動作することができるようにする、請求項１に記載のデコーダ。
【請求項９】
前記スケーラが、色空間変換を実行する、請求項１に記載のデコーダ。
【請求項１０】
少なくとも第１および第２のビデオ・ストリームを復号する方法であって、
前記少なくとも第１および第２のビデオ・ストリームのそれぞれを、復号を行うためにルーティングするステップと、
前記少なくとも第１および第２のビデオ・ストリームのそれぞれを復号して、少なくとも第１および第２の圧縮解除ビデオ・ストリームをそれぞれ生成するステップと、
前記少なくとも第１および第２の圧縮解除ビデオ・ストリームのそれぞれのフレームを記憶するステップと、
前記第１および第２の圧縮解除ビデオ・ストリームの記憶したフレームを、共通のサイズにスケーリングするステップと、
を含む、前記方法。
【請求項１１】
前記少なくとも第１および第２のビデオ・ストリームがそれぞれ、第１および第２のフォーマットでエンコードされており、前記復号ステップが、第１および第２の復号フォーマットをそれぞれ使用して前記少なくとも第１および第２のビデオ・ストリームを復号することをさらに含む、請求項１０に記載の方法。
【請求項１２】
前記第１のエンコード・フォーマットが、標準精細度（ＳＤ）ビデオのＭＰＥＧ２、ＤＶ２５、およびＤＶ５０のエンコード・フォーマット、ならびに高精細度ビデオのＭＰＥＧ２、Ｈ．２６４－ＭＰＥＧ４　ＡＶＣ、およびＤＶ１００エンコード・フォーマットのうちの１つを含む、請求項１０に記載の方法。
【請求項１３】
前記第２のエンコード・フォーマットが、標準精細度（ＳＤ）ビデオのＭＰＥＧ２、ＤＶ２５、およびＤＶ５０エンコード・フォーマット、ならびに高精細度ビデオのＭＰＥＧ２、Ｈ．２６４－ＭＰＥＧ４　ＡＶＣ、およびＤＶ１００エンコード・フォーマットのうちの１つを含む、請求項１０に記載の方法。
【請求項１４】
前記少なくとも第１および第２のビデオ・ストリームのエンコードを記憶したビデオ・ストリームのスケーリングから切り離すステップをさらに含む、請求項１０に記載の方法。
【請求項１５】
記憶したフレームに対して色変換を実行するステップをさらに含む、請求項１０に記載の方法。
【請求項１６】

複数のビデオ・ストリームを空間的に並列に復号するステップをさらに含む、請求項１０に記載の方法。